

深沢地区の「ゆるやかな見守り活動」について(案)

住民同士がさりげなく見守る

高齢者などがいつまでも住み慣れた地域で、安心して生活するためには地域の専門機関や地域関係者の見守りに加えて、住民同士がつながりを深め、お互いが負担や不安を感じない程度の見守りに取り組んでいくことが大切です。

「深沢会議」(注1)ではこのたび「ゆるやかな見守り活動」を立案しました。この活動は、地域の皆さんの力が必要となります。日頃のさりげないご近所付き合いから少しステップアップして、お互い気かけあう地域づくりに一緒に取り組んでいきませんか。

ゆるやかな見守り活動

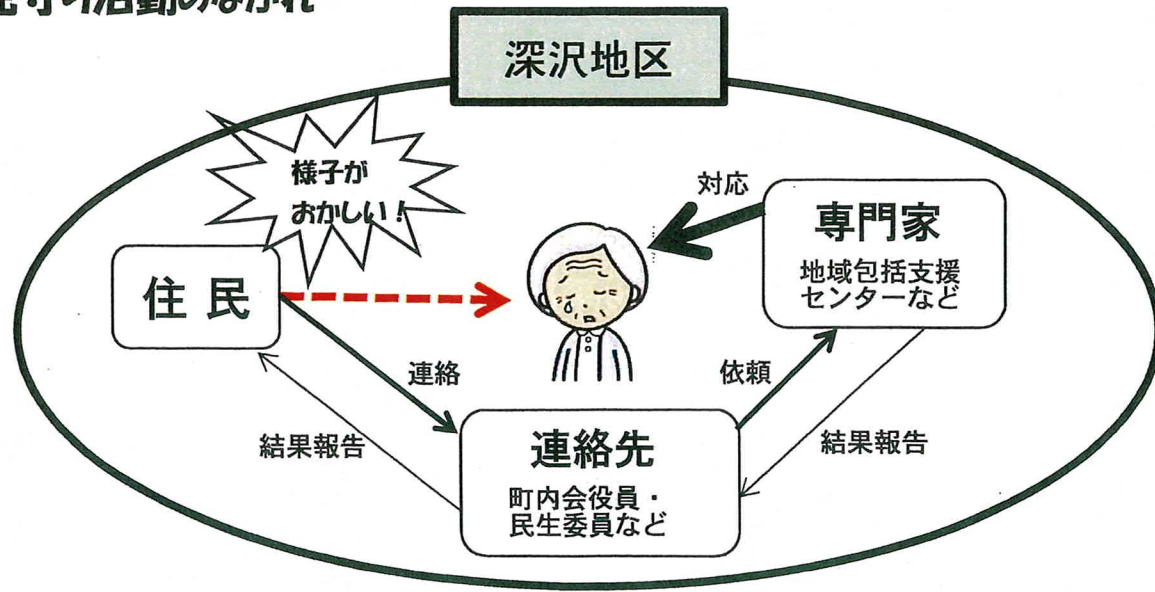
「ゆるやかな見守り活動」は、住民同士がお互いに負担や不安を感じない程度の見守りを行なおうとするもので、見守り対象者の名簿を作ったりしません。誰が見守るかといったことを決めたりしません。日常生活のなかで『いつもと違う!』と異変に気づいた時に、気づいた人が定められた連絡先へ連絡し、早期発見・早期対応につなげようとするものです。

例えば、次のような事柄に気付いて心配に思ったとき、ひとこと様子がおかしいと連絡してくれればいいのです。

- 新聞・郵便物が溜まっている。
- 夜になっても家に明かりがつかない。
- 昼間でも雨戸が閉まっている。
- ごみがあふれている・家から異臭がする。
- 最近見かけなくなった。
- 怒鳴り声や泣き声がする。
- 最近、道で会っても元気がない。
- 顔や手足に内出血や傷がある。など

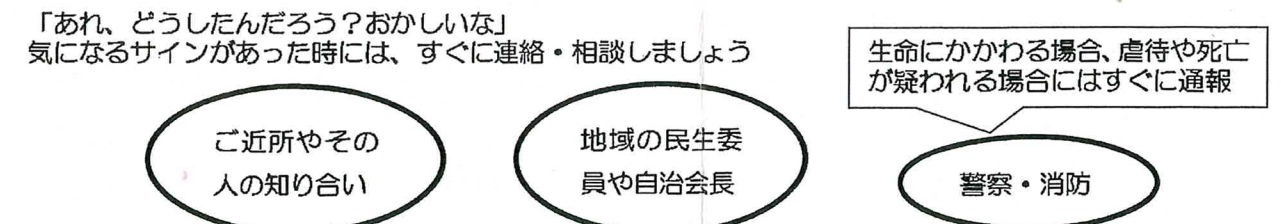
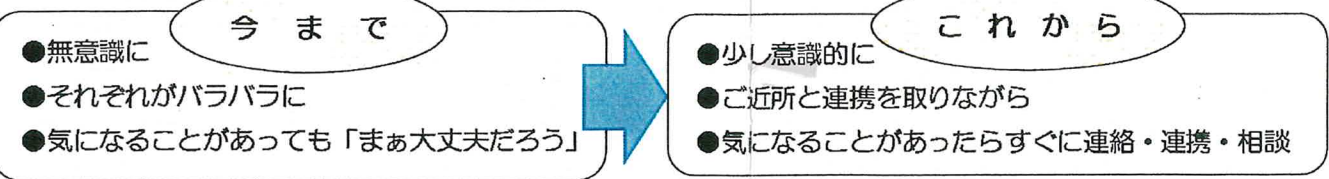
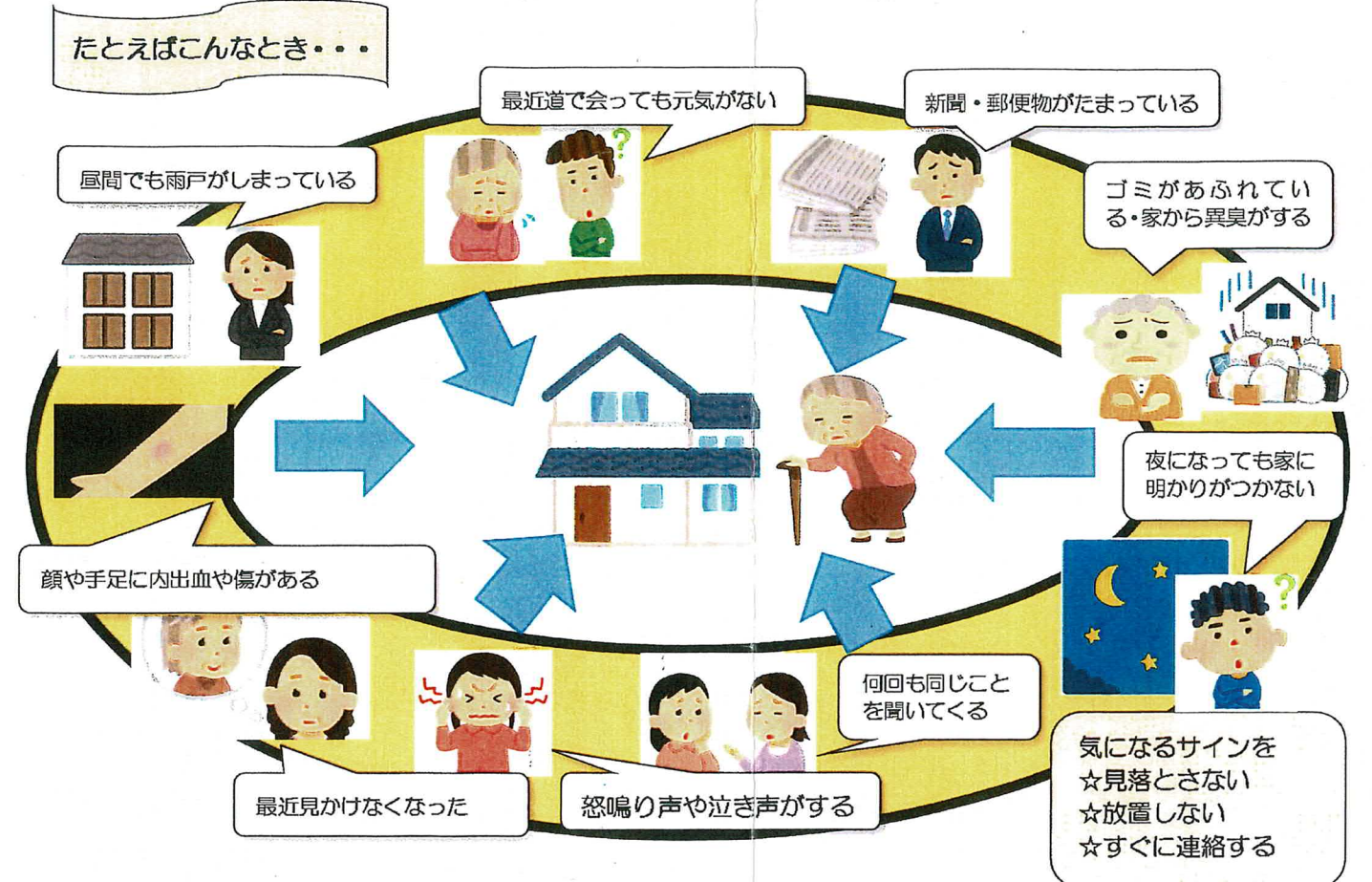
ゆるやかな見守り活動は、原則として外から見える範囲での見守りとします。

見守り活動のながれ



「ゆるやかな見守り活動」 に一緒に取り組みませんか

お互い気かけあう地域づくり
地域ではちょっとした心がけで安心で安全な地域づくりにつながります。
以下の様な状況に気づいて心配に思った時、一言連絡をいただけませんか。



(注1) 『深沢会議』のご紹介
正式名称を「深沢地区の高齢者福祉を考える協議体」といい、令和2年7月1日に発足しました。協議体は介護保険制度に基づき、生活支援体制整備事業の一環として設置されました。鎌倉市では鎌倉市社会福祉協議会が受託し運営しています。
深沢会議は、高齢者が住み慣れた地域で安心して安全に暮らすためにはどうしたらよいかを協議し、新しい地域の支え合い活動の仕組み作りを立案する場です。それを地域の団体や住民の皆さんと協力して実施していく、或いは行政に対して提案し、高齢者にやさしいまちの実現を目指していきます。
深沢地区の社会福祉協議会、連合町内会、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター、深沢支所、教養センターなどがメンバーとなって活動を行っています。